

入札公告

次のとおり一般競争入札に付します。

なお当該入札公告は、当院ホームページ上にも掲載する。

令和7年9月2日

日野病院組合

管理者 埜田 淳一

記

1. 調達内容

(1) 調達物品の名称及び数量

医用画像保管装置 1式

(2) 調達物品の仕様等

別紙医用画像保管装置仕様書のとおり

(3) 納入期限

令和7年12月26日(金)

(4) 納入場所

鳥取県日野郡日野町野田332

日野病院組合 日野病院

(5) 入札方法

入札者は、調達物品の本体のほか、運送費、保険料、関税、据付工事費、稼働させるための設備改修費及び仕様書等に規定するもの等納入に要する一切の諸経費を含め金額を見積もるものとする。また入札者は、消費税に課税事業者であるか、非課税事業者であるかを問わず、見積もった金額の110分の100に相当する金額を入札書に記載すること。

2. 入札参加資格

この入札に参加する資格を有する者は、次に掲げる要件をすべて満たす者とする。

(1) 地方自治法施行令第167条の4の規定に該当しない者であること。

(2) 次のア～カのいずれかに該当があった後2年間を経過しない者、これを代理人、支配人その他の使用人として使用する者でないこと。

ア. 契約の履行に当り故意に工事若しくは製造を粗雑にし、又は物件の品質若しくは数量に関して不正の行為をしたもの。

イ. 公正な競争の執行を妨げたもの又は、公正な価格を害し若しくは不正の利益を得るために連合した者。

- ウ. 入札者が契約を結ぶこと又は契約を履行することを妨げた者。
 - エ. 監督又は検査の実施に当り職員の職務の執行を妨げた者。
 - オ. 正当な理由がなくて契約を履行しなかった者。
 - カ. 上記のア～オのいずれかに該当する事実があった者を、契約の履行に当り、代理人、支配人その他の使用人として使用した者。
- (3) この公告に示した物品を納入期限までに納入場所に納入することができる者であって、当該物品の納入後、保守、点検、修理その他のアフターサービスを求めに応じて速やかに提供できる者であること。
- (4) 入札の日において、国または地方公共団体から指名停止の措置を受けていない者であること。

3. 入札説明書、仕様書等の交付場所等

- (1) 入札説明書、仕様書等の交付場所及び問い合わせ先
〒689-4504 鳥取県日野郡日野町野田332
日野病院組合 日野病院 総務課 小川
電話：0859-72-0351 FAX：0859-72-0089
又は、日野病院ホームページから入手
- (2) 入札説明書の交付期間
令和7年9月2日（火）～令和7年9月12日（金）午前8時
- (3) 入札及び開札の日時及び場所
令和7年9月12日（金）午前10時
日野病院 第2会議室
- (4) 郵便等による入札
不可とする。

4. 落札者の決定

本入札説明書に従い入札書を提出したものであって、予定価格の制限の範囲内で最低価格をもって有効な入札を行った入札者を落札者とする。

5. その他

- (1) 質問票について
仕様書の内容について質問がある場合は、別紙質問票を FAX で提出する事。（回答は、入札日の前日までに当院ホームページにて回答）
質問票提出期限：令和7年9月9日（火）午後3時
- (2) 契約手続において使用する言語及び通貨
日本語及び日本国通貨とする。
- (3) 入札保証金及び契約保証金
免除する。
- (4) 契約書作成の要否
要

(5) 詳細は入札説明書による。

入 札 説 明 書

この入札説明書は、本件公告にさだめるもののほか、本件調達に係る入札及び契約に関し、入札者が熟知し、かつ遵守しなければならない一般的事項を明らかにするものである。

1 調達内容

(1) 概要

本調達は、日野病院組合日野病院に調達物品を導入する。

(2) 調達物品の名称及び数量

医用画像保管装置 1式

(3) 調達物品の仕様等

別紙医用画像保管装置仕様書のとおり

(4) 納入期限

令和7年12月26日（金）

(5) 納入場所

鳥取県日野郡日野町野田332 日野病院組合日野病院

2. 入札参加資格

この入札に参加する資格を有する者は、次に掲げる要件をすべて満たす者とする。

(1) 地方自治法施行令第167条の4の規定に該当しない者であること。

(2) 次のア～カのいずれかに該当があった後2年間を経過しない者、これを代理人、支配人その他の使用人として使用する者でないこと。

ア. 契約の履行に当り故意に工事若しくは製造を粗雑にし、又は物件の品質若しくは数量に関して不正の行為をしたもの。

イ. 公正な競争の執行を妨げたもの又は、公正な価格を害し若しくは不正の利益を得るために連合した者。

ウ. 入札者が契約を結ぶこと又は契約を履行することを妨げた者。

エ. 監督又は検査の実施に当り職員の職務の執行を妨げた者。

オ. 正当な理由がなくて契約を履行しなかった者。

カ. 上記のア～オのいずれかに該当する事実があった者を、契約の履行に当り、代理人、支配人その他の使用人として使用した者。

(3) この公告に示した物品を納入期限までに納入場所に納入することができる者であって、当該物品の納入後、保守、点検、修理その他のアフターサービスを求めに応じて速やかに提供できる者であること。

(4) 入札の日において、国または地方公共団体から指名停止の措置を受けていない者であること。

3. 入札手続等

- (1) 入札書の提出場所、入札に関する問い合わせ先

〒689-4504 鳥取県日野郡日野町野田 332

日野病院組合日野病院総務課 担当 小川

電話：0859-72-0351 FAX：0859-72-0089

- (2) 入札及び開札の日時及び場所

令和7年9月12日（金）午前10時

日野病院 第2会議室

- (3) 郵便等による入札

不可とする。

4. 入札方法等

- (1) 入札者は、調達物品の本体のほか、運送費、保険料、関税、据付工事費、稼働させるための設備改修費及び仕様書等に規定するもの等納入に要する一切の諸経費を含め金額を見積もるものとする。また入札者は、消費税に課税事業者であるか、非課税事業者であるかを問わず、見積もった金額の110分の100に相当する金額を入札書に記載すること。
- (2) 予定価格以内の入札がないときは、予定価格以内の価格に達するまで、再度入札を1回のみ行う。
- (3) 入札書は、件名及び入札者名を記入し、「入札書」と明記した封筒に入れ、密封して提出しなければならない。
- (4) 代理人に入札書を提出させるときは、必ず委任状を提出しなければならない。
- (5) 入札書及び委任状の宛名は「日野病院組合管理者 塚田 淳一」とすること。
- (6) 入札者は、いったん提出した入札書の書き換え、引き換え又は撤回することはできない。
- (7) 入札後、本件公告、基本仕様書並びにこの入札説明書等の不知又は不明を理由として、意義を申し立てることはできない。

5. 入札の無効

- (1) 本件公告に示した入札参加資格のない者の入札
- (2) 入札者に求められる義務を履行しなかった者の入札
- (3) 他の入札者の代理人を兼ねた者、又は2人以上の入札者の代理をした者の入札
- (4) 委任状のない代理人の入札
- (5) 入札に関して不正のあった者の入札
- (6) 記名押印のない入札書による入札
- (7) 入札書の金額、氏名、印影、その他入札に関する要件を欠き、又は重要な文字を誤脱し、若しくは記載内容を確認しがたい入札書による入札
- (8) 協定、会計法令、財務規定、会計規則、特例規則、本件公告及びこの入札説明書に違反した入札

6. 落札者の決定

本入札説明書に従い入札書を提出したものであって、予定価格の制限の範囲内で最低価格をもって有効な入札を行った入札者を落札者とする。

なお、再入札を行った場合でも落札者がいない場合は、地方自治法施行令第167条の2第1項第8号の規定により最低価格入札者と交渉を行うものとする。

7. 契 約

(1) 契約する者

鳥取県日野郡日野町野田332

日野病院組合

管理者 埴田 淳一

(2) 契約担当部署

日野病院 総務課

(3) 契約手続において使用する言語、通貨及び時刻

日本語、日本国通貨及び日本標準時

(4) 契約書作成の要否

要

(5) 手続における交渉の有無

無

令和7年 月 日

(宛先) 日野病院組合日野病院

電話番号 0859-72-0351

Fax 番号 0859-72-0089

質問票

医用画像保管装置1式に係る仕様について、次のとおり質問します。

項 目 (書類名称・ページ・項目など)	内 容

注1：質問事項は、簡潔に記載してください。

注2：行が足りない場合は、適宜追加してください。

注3：送信後、必ず電話により到着確認を行ってください。

所在地

商号又は名称

氏名 (フリガナ)

電話番号

メールアドレス

医用画像保管装置 仕様書

		項目
1		医用画像保管装置ハードウェア
		PACSのシステムハードウェアは、オンプレミス型の管理サーバ、保存ストレージの構成で、データ受信およびデータの整合性を確保するための冗長化されたシステムであり、以下の要件を満たしていること。 また、既存のシステム間の連携および画像データをすべて踏襲すること。
1-1		画像保管サーバ
1-1-1		CPUは、インテル Xeon E-2356 6コア/3.20GHz/12MB x1 相当以上、また、主記憶容量は、32GB相当実装すること。
1-1-2		ディスクレイは、6TB以上のHDD4個以上をもち、RAID6の構成を有すること。また、内蔵画像容量は9TB以上有すること。
1-1-3		内蔵DVD-ROMドライブを有すること。
1-1-4		1000Base-T/100Base-TX/10Base-T自動認識のネットワークインターフェイスを1つ以上有すること。
1-1-5		オペレーティング・システムは、Microsoft Windows Server 2019以上を有すること。
1-1-6		リレーショナルデータベースを基本としたシステムであり、データベースソフトはoracleを有すること。
1-1-7		ストレージユニットを追加し、79TBの実効容量まで拡張可能なこと。
1-1-8		4TB以上のバックアップ用外付けHDDを有すること。
1-1-9		2022年導入の8TB-NASが流用可能なシステムを構築すること。もしくは、画像保存容量として15TB以上を確保すること。
2		医用画像保管装置ソフトウェア
2-1		DICOM規格に基づくデータ管理機能
2-1-1		CR、CT、MR、NM、US、US Multi-frame、SC、XA、RF、DX、MG、PET、IO、MG、IVUS、IVOCT Image Storage For Processing、Mammography CAD SR SOP Class、BREAST TOMOSYNTHESIS IMAGE SOP CLASS、RT Image、RT Dose、RT Structure、RT Beams Treatment Record、RT Plan、Grayscale Softcopy Presentation State(GSPS)、Key Object Selection Document、Encapsulated PDF Storage のDICOM Storageサービスクラス (Storage SCP)をサポートしていること。
2-1-2		DICOM Enhanced CT、DICOM Enhanced MRの各DICOM Storageサービスクラス (Storage SCP)をサポートしていること。
2-1-3		Toshiba US Private Data Storageサービスクラス (Storage SCP)をサポートしていること。
2-1-4		Study Root Q/R Find、Study Root Q/R Move のDICOM Q/Rサービスクラスをサポートしていること。
2-1-5		Storage Commitment Push Model DICOMサービスクラスをサポートしていること。
2-1-6		DICOM MWM SCPをサポートしていること。
2-1-7		・以下DICOM Web Serviceをサポートしていること。 ・URI Service (WADO-URI) ・Studies Service and Resource ・Retrieve Transaction (WADO-RS) ・Store Transaction (STOW-RS) ・Search Transaction (QIDO-RS)
2-1-8		MINT I/Fで検査、画像情報を返却可能な機能を有すること。
2-1-9		XDS.b ITI-18に従い、Document ConsumerからのFind Documents要求に応答可能な機能を有すること。
2-1-10		XDS.b ITI-43に従い、Document ConsumerからのRetrieve Document Set Request要求に応答可能な機能を有すること。
2-2		統合管理機能
		(画像の受信・保管・データ管理)
2-2-1		各診断装置から受信した画像を、可逆圧縮、非可逆圧縮、参照JPEG画像 (1種類)、DICOM Enhanced画像の生成・管理が可能な機能を有すること。
2-2-2		圧縮形式は、JPEGまたはJPEG2000をモダリティ単位で設定できる機能を有すること。
2-2-3		更新日付または検査日付からの経過日、モダリティ、SOP Class UID、画像サイズ(縦・横)の条件により、指定されたDICOM画像の非可逆圧縮と非圧縮で保管されているEnhanced DICOM画像の、可逆圧縮が可能な機能を有すること。
2-2-4		受信した画像データをストレージユニットに保存し、画像データを保存する際、画像付帯情報と保管場所等の情報をデータベースで管理する機能を有すること。
2-2-5		予め設定されている条件に従い、画像付帯情報のタグマッピング機能を有すること。 タグマッピングの使用場面(例)は病院の運用に合わせ、特定タグに記載されている情報を別のDICOMタグにセット(TAGコピー)、データから不要な文字列を削除、データに文字列を追加、1つのDICOM タグに複数のデータが入力されている場合、データを分けてセットする機能を有すること。
2-2-6		不要な画像に関しては管理者権限をもっているユーザがでのみ削除できる機能を有すること。また、削除した画像はサーバ内に残らず、画像容量を圧迫しない機能を有すること。
2-2-7		一度削除した画像をモダリティから再送した場合、正常に画像が登録できること。
2-2-8		CTの受信画像をスライス厚や再構成関数などの組み合わせでThinSlice画像を定義可能な機能を有すること。
2-2-9		ThinSlice画像に関し、一定期間経過後に自動削除する機能を有すること。
2-2-10		ThinSlice画像に関し、一定期間経過後の自動削除対象から外す画像プロテクト機能を有すること。
2-2-11		レポートに貼り付けた画像もしくはシリーズ、又は検査を自動削除対象から外す機能を有すること。

2-2-12	自動削除対象は部位の種別、モダリティ種別、スライス厚、スライス枚数、スケジュール設定、シリーズ単位で絞り込むことが可能な機能を有すること。
2-2-13	最新のアプリケーションを読影端末及び参照端末へ自動でインストール可能な機能を有すること。 (画像の送信・送信制御機能)
2-2-14	画像を受信時に、予め設定されている条件に従い、指定された装置へDICOM Storage SCUを用いて、画像を送信することが可能な機能を有すること。 スライス厚による画像送信フィルタができ、3D WSへはThinSliceのみ送信可能な機能を有すること。 AEごとへの配送、過去検査の同時送信、転送時間の設定などの制御や、特定WSのみに転送する際、タグ置換可能な機能を有すること。 送信のタイミングは、画像受診時、特定の時間など、制御可能なこと。さらに、特定の設定に従い、他社サーバへのQ/R実行も可
2-2-15	DICOM Enhanced CT/MR画像を分割し、DICOM Storage サービスクラス (SCP) CT,MRをサポートし、DICOM Enhanced CT/MRに対応していない装置に対して、1フレーム(1画像)単位に分けて送信する機能を有すること。 (本装置管理機能 : Portal)
2-2-16	本装置に登録した画像に対し、画像削除、検査・シリーズの分割・結合、画像送信を行える機能を有すること。
2-2-17	本装置に登録した画像、レポートに対し、患者情報の変更機能を有すること。
2-2-18	動作パラメータの設定変更や、本装置の動作状態などのステータス情報の参照、ジョブの停止、再開、削除といった保守・サービス用機能を有すること。
2-2-19	ユーザID、パスワードの管理や各ユーザの権限の管理が可能なこと。また、ユーザグループの管理機能を有すること。
2-2-20	本装置または本装置が提供するアプリケーションで発生したイベントをログして一定期間保持する操作履歴保存機能を有すること。
2-2-21	ユーザID、パスワードにより限定したユーザのみが、画像の削除、付帯情報の変更が可能な機能を有すること。
2-2-22	セキュリティの観点から、一定時間経過後は自動ログアウトする機能を有すること。
2-2-23	ユーザのパスワードの有効期限の設定が可能な機能を有すること。
2-2-24	HDD故障を検知して通知および、サーバ本体の物理メモリ残量の下限を検知して通知するアラート機能を有すること。
2-3	データのバックアップとリストア機能
2-3-1	画像管理データベースを外付けHDDにバックアップする機能を有し、またバックアップしたデータベースを復元する機能を有すること。
2-3-2	本装置で管理している画像ファイル、レポートデータ、汎用ファイル等のデータを外付けHDDにバックアップでき、バックアップしたHDDはオフラインで管理され、データを復元する機能を有すること。
2-4	無停電電源装置
2-4-1	無停電電源により、電源供給が止まった場合でも正常に装置を停止する機能を有すること。
2-4-2	リモート端末から、本装置の動作状態の確認と動作パラメータの設定変更を行う障害対策機能を有すること。
2-5	MWM機能
2-5-1	DICOM MWM SCU機能を実装する画像撮影装置からのC-FINDの検索条件に基づき、DICOM MWM SCP機能でワークリストの送信機能を有すること。
2-5-2	画像撮影装置からの患者ID指定のC-FINDの情報に基づいて、ワークリスト1件を自動生成して応答を返却する機能を有すること。
2-5-3	患者情報を医事会計システムから取得してワークリストを生成し、簡易オーダ機能で作成されたオーダ情報に基づいて返却する機能を有すること。
2-5-4	簡易オーダ作成画面で、患者情報及び検査情報を入力してオーダを作成可能な機能を有すること。
2-5-5	オーダ作成時、患者IDをキーに、本装置に登録済みデータまたは、医事会計システムから患者情報を取得し自動入力可能な機能を有すること。
2-5-6	作成したオーダに対して、オーダ内容の編集を行うことが可能な機能を有すること。
3	医用画像保管装置クライアントハードウェア
3-1	PACSクライアント1
3-1-1	CPUは、インテル Corei7相当の性能・機能を有すること。
3-1-2	主記憶装置の容量は、32GBを有すること。
3-1-3	SSDの容量は、256GBの物理容量を有すること。
3-1-4	クライアント端末は、Windows10 64bit 日本語版相当を有すること。
3-1-5	グラフィックカードは、既存高精細カラー液晶モニタ2MPを2面を接続できる性能の機器を1セット有すること。
4	クライアントソフトウェア
4-1	読影用リスト機能 (SearchList)
4-1-1	Windows10 相当のOS上で、Webブラウザを介して検索条件で指定したリスト画面が表示できる機能を有すること。

4-1-2	患者ID、モダリティ、検査日、検査部位など複数項目を指定して絞り込み表示（AND・OR・NOT条件）が可能な機能を有すること。また絞り込み表示の指定条件を保存し、プリセット検索条件として表示可能な機能を有すること。
4-1-3	検索時、指定した項目、条件で並び替えた結果が表示可能な機能を有すること。
4-1-4	初期表示時に指定条件で設定された検索結果が自動表示可能な機能を有すること。
4-1-5	リストは自動更新、ボタンでの更新がユーザごとに設定可能な機能を有すること。 またユーザが一時的に自動更新とボタンでの更新を切り替える機能を有すること。
4-1-6	絞りこみ表示に関しては 特定の期間を指定して、検索済みの結果を複数のタブでリスト上に常駐することが可能な機能を有すること。またタブは任意な名前で設定が行え、総検査数と未読影数が表示される機能を有すること。
4-1-7	リストの表示項目(患者ID、モダリティ、画像数、検査日、年齢、性別、検査部位、依頼医師、施設名等)の追加/削除/並び替えがユーザ毎に可能な機能を有すること。
4-1-8	上記項目及び絞り込みプリセット内容やタブ、絞り込み項目などはユーザ毎に設定可能で、異なる端末からログインにより再現可能な機能を有すること。
4-1-9	検索結果一覧の表示順をユーザ毎に最大5条件を指定してソート可能な機能を有すること。
4-1-10	""*""を使用したあいまい検索が可能かつ、患者氏名の検索は部分一致や、完全一致等を設定することが可能な機能を有すること。
4-1-11	表示したリストから、ビューア、患者カレンダー機能、汎用ファイル管理アプリケーション、レポートアプリケーションの呼び出しが可能な機能を有すること。
4-1-12	検査を選択し、過去検査がある場合に表示可能な機能を有すること。
4-1-13	読影状況が分かりやすいように読影状況ごとに分かりやすくハイライトを設定できる機能を有すること。 また、ハイライトの表示領域は検査リストの行全体かセルのみかを、ユーザが切換えられる機能を有すること。
4-1-14	検査実施後、一定期間を経過しても読影レポートが確定されていない場合、読影リスト上に目立つ色で表示、警告を促す未確認アラートの機能を有すること。
4-1-15	患者ID検索の際、設定された患者IDの桁数にあつように、先頭に"0"を補完する機能を有すること。
4-1-16	表示したリストから、読影予約をし、読影予定者の選択が可能なこと。また読影不要の設定が可能な機能を有すること。
4-1-17	リストの表示項目に読影した割合（読影率）を表示することが可能な機能を有すること。
4-1-18	自動削除設定に対し、画像プロテクトの設定・解除が可能な機能を有すること。
4-1-19	読影リストと同じリストで所見、Impression等のフリーワード検索が可能な機能を有すること。
4-1-20	ブックマークした検査は読影リストにて検索が可能な機能を有すること。
4-1-21	ブックマーク登録した検査を抽出可能な機能を有すること。
4-1-22	検索結果の一覧をCSV形式で上位システムから受信した内容や所見を含めファイル出力する機能を有すること。
4-1-23	CSV出力内容はユーザ毎にプリセット登録が可能で、出力可能なユーザ権限はサーバで管理可能な機能を有すること。
4-1-24	登録者、依頼科、検査名などの指定した条件でレポートの集計可能な機能を有すること。
4-1-25	リストから選択し、確定レポートの一括印刷が可能な機能を有すること。
4-1-26	レポートを記載した、所見やコメントの情報を、リスト上に表示可能な機能を有すること。
4-1-27	レポートの重要度については、読影リストにて設定したステータスが表示可能なこと。また、未確認のレポートを重要度やレポートの確定後から経過した日数で絞り込んで検索する機能を有すること。（既読管理）
4-1-28	レポート参照履歴がある検査は読影リスト上にマークが表示され、クリックするとレポート確認日とレポート確認者が表示可能な機能を有すること。
4-1-29	レポート参照後、レポートの確認ボタンを押下したユーザ全ての参照日時がCSV出力可能な機能を有すること。
4-1-30	リストの画面内にレポート参照画面が表示可能な機能を有すること。
4-1-31	選択した検査の過去検査がある場合はリスト下部に表示可能な機能を有すること。
4-2	患者ポータル (カレンダー型患者リスト) 機能
4-2-1	Windows10相当のOSを搭載したクライアントPCからWebブラウザを介して動作可能な機能を有すること。その際、専用アプリケーションのインストールは不要なこと。
4-2-2	特定患者の検査一覧を、縦軸にモダリティ種別、横軸に時間という形式にてまとめ、マトリクス表示にて表示可能な機能を有すること。
4-2-3	検査一覧は、月カレンダー表示、週カレンダー表示、一覧表示に切り替えが可能な機能を有すること。
4-2-4	患者検索ボタンを有し、患者IDを検索条件として患者を検索し、指定した患者への切替表示が可能な機能を有すること。
4-2-5	設定ボタンを有し、モダリティカラム設定として縦軸に表示するモダリティ種と、その並び順を設定可能な機能を有すること。
4-2-6	ファイルカラムを有し、汎用ファイル管理アプリケーションにて管理される汎用ファイル群を表示し、呼び出す事が可能な機能を有すること。
4-2-7	汎用ファイル管理アプリケーションで登録したファイルは登録日時の欄に表示可能な機能を有すること。
4-2-8	コメントカラムを有し、ユーザがコメントを記入する事が可能な機能を有すること。
4-2-9	マトリクス表示領域の1セル内には、画像アイコン、レポートアイコン、コメントアイコンを表示可能な機能を有すること。
4-2-10	セル内の画像アイコンは、サムネイル画像、もしくはモダリティ種別に応じたアイコンにて表示可能な機能を有すること。
4-2-11	セル内のアイコンをクリックする事により、当該検査の画像、レポート、コメントを呼び出す事が可能な機能を有すること。
4-2-12	検査部位あるいは画像部位の表示が可能な機能を有すること。
4-2-13	セル内のアイコンをクリックすることで、ビューアを起動することなく検査画像のダイジェストを閲覧する事が可能な機能を有すること。
4-2-14	URL連携にて、他システムへの連携が可能な機能を有すること。 また、他システムと連携して、画像登録・レポート登録のアイコン表示が可能な機能を有すること。
4-2-15	マトリクス領域の縦軸、横軸共にスライダーバーを有し、本スライダーバーの操作でマトリクス領域内の表示範囲と表示縮尺を変更可能な機能を有すること。
4-2-16	マトリクス領域上でのマウスドラッグ操作により、表示範囲を任意に変更する事が可能な機能を有すること。

4-2-17	患者ID検索の際、設定された患者IDの桁数にあうように、先頭に“0”などの文字で補完することが可能な機能を有すること。
4-2-18	サーバに登録されていない新規患者の登録可能な機能を有すること。
4-3	ビューア機能
4-3-1	本ビューアは、医薬品医療機器等法における汎用画像診断装置ワークステーション用プログラムを取得していること。
4-3-2	Windows10相当のOSを搭載したクライアントPCから専用アプリケーションを介してDICOM画像が閲覧可能な機能を有すること。
4-3-3	ビューア設定は、ログインユーザ毎に管理可能で、異なる端末でログインにより再現可能な機能を有すること。
	(基本機能)
4-3-4	院内すべての画像参照端末には、同一のソフトウェアを使用することで、同じ機能と操作性が可能な機能を有すること。
4-3-5	画像管理サーバーで管理された画像データは、参照する各端末のハードディスクに保存されずメモリに直接展開され、高速な画像表示可能な機能を有すること。
4-3-6	管理されているすべての画像（オリジナル画像）が3秒以内に、院内すべての端末で表示可能な機能を有すること。
4-3-7	モダリティ種類ごとに初期表示レイアウト、表示倍率、表示階調、表示するオーバーレイ等について設定可能な機能を有すること。また、この設定はユーザーごとに可能な機能を有すること。
4-3-8	使用頻度の高い操作をマウス操作に登録可能な機能を有すること。また、使用するマウス操作を切り替える際には、登録したマウス操作以外には操作が不要な機能を有すること。
4-3-9	マウスの右クリックメニューまたはキーボードショートカットに各種機能を自由に登録して操作可能な機能を有すること。また、この登録はユーザーごとに可能な機能を有すること。
	(ツールバー設定)
4-3-10	ツールバーに各種機能のボタンをアイコン化して配置可能な機能を有すること。また、アイコンを選択することで機能を利用可能な機能を有すること。
4-3-11	機能アイコンを任意に組み合わせることでツールバーを作成・保存可能な機能を有すること。また、ツールバーの作成・保存はユーザーごとに可能な機能を有すること。
4-3-12	ツールバーの機能アイコンの位置を任意に移動可能な機能を有すること。また、ツールボタンの大きさをユーザーごとに設定可能な機能を有すること。
4-3-13	各ツールバーの表示・非表示を切り替え可能な機能を有すること。
4-3-14	各ツールバーの表示位置については、入れ替えや移動を任意に可能な機能を有すること。
4-3-15	ツールバーをドラッグ＆ドロップによって読影画面の任意の位置に配置し、フローティングツールバーとして利用可能な機能を有すること。
	(患者情報表示)
4-3-16	選択した検査の患者情報を表示可能な機能を有すること。
4-3-17	個人情報保護のために、匿名化モードで読影画面内の患者情報を非表示に可能な機能を有すること。また、患者情報の表示/非表示の切り替えは、ビューアからログアウトせずにワンタッチで可能な機能を有すること。
4-3-18	患者名や患者IDなどの患者情報を匿名化表示可能な機能を有すること。
4-3-19	患者情報やサムネイルの表示範囲(高さ)をユーザーごとに設定可能な機能を有すること。
4-3-20	患者情報、過去検査情報（リスト・サムネイル表示）の表示エリアを上下に入れ替え可能な機能を有すること。また、この設定はユーザーごとに可能な機能を有すること。
	(リスト表示形式)
4-3-21	過去検査のリストを読影画面内に一覧で表示可能な機能を有すること。また、リストから任意の検査を選択することで、選択した検査の画像を読影画面に表示可能な機能を有すること。
4-3-22	過去検査リストで表示する検査項目の内容、並び順をユーザーごとに設定可能な機能を有すること。また、過去に撮影したモダリティ種類を選択することで、モダリティ種類による過去検査リストの絞り込みが可能な機能を有すること。
4-3-23	過去検査リストで選択した検査を、シリーズ単位でサムネイル表示可能な機能を有すること。選択したサムネイル画像はページングが可能な機能を有すること。また、サムネイルの表示段数をユーザーごとに設定可能な機能を有すること。
4-3-24	過去検査リストの任意の検査やそのサムネイルをダブルクリックまたはドラッグ＆ドロップすることにより、任意のスタックに画像を表示可能な機能を有すること。また、ドラッグ＆ドロップによる画像の表示は、複数の検査やサムネイルを選択した場合でも可能な機能を有すること。
4-3-25	過去検査リストのサムネイルからドラッグ＆ドロップによって画像を表示する際に、ポップアップで表示されるレイアウトウィンドウを利用して表示させるスタックを選択可能な機能を有すること。
	(過去検査一覧)
4-3-26	検査種別と検査日時のマトリクスによって、過去検査の件数を一覧で表示可能な機能を有すること。また、この表示は読影画面とは別ウィンドウで行い、検査画像はサムネイルで表示可能な機能を有すること。
4-3-27	過去検査一覧は、検査日やモダリティ種別によって絞り込みが可能な機能を有すること。
4-3-28	過去検査一覧による表示期間の単位を、年・月・日で切り替え可能な機能を有すること。
4-3-29	過去検査一覧のウィンドウ上に表示されたサムネイルをダブルクリックまたはドラッグ＆ドロップすることにより、読影画面の任意のスタックに画像を表示可能な機能を有すること。
4-3-30	過去検査パレットのサムネイルからドラッグ＆ドロップによって画像を表示する際に、ポップアップで表示されるレイアウトウィンドウを利用して表示させるスタックを選択可能な機能を有すること。
	(サムネイル表示)
4-3-31	各検査の先頭シリーズのサムネイルを並べて一覧で表示でき、そのサムネイルをクリックすることにより、全シリーズのサムネイル画像を展開できる表示形式を有すること。また、サムネイルのシリーズ表示の展開・収納はワンクリックで切り替え可能な機能を有すること。

	(画像表示レイアウト)
4-3-32	スタック表示（ビューアの分割表示）とタイル表示（スタック表示内での分割表示）を組み合わせることで表示可能な機能を有すること。
4-3-33	スタックの表示数（ビューアの任意の分割数）とタイルの表示数（スタックの任意の分割数）を変更可能な機能を有すること。また、スタックの表示数とタイルの表示数は、別ウィンドウで表示されるマス目にマウスカーソルを合わせるだけで選択可能な機能を有すること。
4-3-34	任意のスタックとタイルの表示方法（行列数）をレイアウトプリセットとして登録可能な機能を有すること。また、登録したレイアウトは簡単に選択して切り替え可能な機能を有すること。
4-3-35	検査画像の初期表示時におけるスタックの表示数、タイルの表示数をモダリティ種別ごとに設定可能な機能を有すること。また、この設定はユーザーごとに可能な機能を有すること。
4-3-36	複数のスタックを用いて一つの検査画像を表示可能な機能を有すること。この表示と解除はワンタッチで簡単可能な機能を有すること。また、検査画像をモニター全体にフルスクリーン表示可能な機能を有すること。
4-3-37	スタックに表示している画像を、読影画面から独立させてサブウィンドウで表示・操作可能な機能を有すること。
4-3-38	画像を表示しているスタックを別ウィンドウでも複製表示可能な機能を有すること。複製表示には、選択しているスタックの表示状態や操作をそのまま映し出し可能な機能を有すること。
	(表示設定)
4-3-39	スタックに階調範囲を調整できる階調範囲指定バーを表示可能な機能を有すること。また、ユーザーごとに表示/非表示の切り替え可能な機能を有すること。
4-3-40	オーバーレイの表示項目、表示位置をモダリティ・ユーザーごとに複数パターン登録可能な機能を有すること。
4-3-41	オーバーレイ情報の表示/非表示をワンタッチで切り替え可能な機能を有すること。また、検査画像の初期表示時におけるオーバーレイの表示/非表示をユーザーごとに設定可能な機能を有すること。
4-3-42	スタックに表示中の画像とサムネイル画像について、検査の異・同を簡単に判別可能な機能を有すること。また、識別マーク・色設定はユーザーごとに可能な機能を有すること。
	(カスタムレイアウト)
4-3-43	モダリティ種類ごとに表示画面のレイアウトを複数設定可能な機能を有すること。また、この設定はユーザーごとに可能な機能を有すること。
4-3-44	ユーザーごとに設定したモダリティ種類別のレイアウトは、ビューアー起動時の初期表示レイアウトとして指定可能な機能を有すること。また、複数設定したレイアウトはワンタッチで切り替えて表示可能な機能を有すること。
4-3-45	スタックに表示しているレイアウトから、ユーザーごとのカスタムレイアウトの条件を作成可能な機能を有すること。
4-3-46	モダリティ種類ごとに設定したレイアウトを、ユーザー間で共有可能な機能を有すること。
	(画像表示)
4-3-47	同一モダリティの画像だけでなく異なるモダリティの画像との比較表示可能な機能を有すること。
4-3-48	単一シリーズの中に混在する複数の撮影時相やプロトコルを、仮想的に複数のシリーズに分割表示可能な機能を有すること。
4-3-49	分割表示は以下の条件によって設定可能な機能を有すること。（スライスロケーション/イメージポジション/撮影時間）また、分割表示を実行する条件と実行しない条件をそれぞれ設定可能な機能を有すること。
4-3-50	スライズライン（参照ライン）を表示可能な機能を有すること。また、撮影角度が異なる画像でも、スライズラインを常に表示可能な機能を有すること。スライズラインの表示/非表示はワンボタンで切り替え可能な機能を有すること。
4-3-51	画像の最終表示状態を自動的に保存し、履歴としてユーザーごとに管理可能な機能を有すること。また、その履歴を指定することによって、当該検査の最終表示状態を立ち上げ可能な機能を有すること。履歴は最低でも過去20件分を保持可能な機能を有すること。
4-3-52	表示状態をファイルとして保存可能な機能を有すること。また、保存した表示状態を再現してビューアーを操作可能な機能を有すること。
4-3-53	作成した再構成画像やフュージョン画像を当該検査の追加シリーズとしてPACSへ送信可能な機能を有すること。
4-3-54	表示された画像のDICOMタグ情報を表示可能な機能を有すること。
4-3-55	画像表示機能として、上下左右の反転、回転、拡大・縮小が可能な機能を有すること。
4-3-56	縮小表示については、ピクセル等倍よりも縮小して表示可能な機能を有すること。
4-3-57	画面のサイズに合わせて、最適な表示倍率で画像を表示可能な機能を有すること。
4-3-58	画像の一部を拡大して表示可能な機能を有すること。（虫メガネ機能）虫メガネの拡大倍率や拡大範囲はユーザーごとに変更可能な機能を有すること。また、虫メガネの使用時でもアノテーションを表示可能な機能を有すること。
4-3-59	ピクセル等倍で画像を表示可能な機能を有すること。
4-3-60	Window Width/Window Level（以下、WW/WL）は、マウスのドラッグおよび数値入力、階調バーによって変更可能な機能
4-3-61	WW/WLについては、初期表示の値に戻すボタンを有すること。
4-3-62	WW/WL、トーンカーブ、フィルタをユーザーごとにプリセット登録可能な機能を有すること。プリセットでは、現在表示しているWW/WLを保ったまま、トーンカーブ、フィルタのプリセットを適用可能な機能を有すること。
4-3-63	自動的に画像の階調を最適化可能な機能を有すること。
4-3-64	CT画像では各条件（肺野条件、縦隔条件、骨条件、腹部造影、腹部単純、気管支条件等）に対して、デフォルトで階調値を用意できること。また、任意の条件（値）をユーザーごとに設定・保存可能な機能を有すること。
4-3-65	シリーズごとに撮影時のWW/WL、ガンマカーブ、任意のLUT、モダリティLUTを表示可能な機能を有すること。
4-3-66	検査単位で表示している画像のWW/WLを変更した場合、同一シリーズの画像または検査全体にその値を反映可能な機能を有すること。
4-3-67	マウスホイールの回転による画像のページングが可能な機能を有すること。また、ユーザーごとにページング操作をマウスの他のボタンに割り当て可能な機能を有すること。
4-3-68	任意の画像を自動でページング可能な機能を有すること。

4-3-69	自動ページングは速度・方向を任意に変更可能な機能を有すること。また、特定範囲を指定してループや往復等での自動ページング可能な機能を有すること。
4-3-70	自動ページングによってマルチフレーム画像を動画のように再生可能な機能を有すること。
4-3-71	時相の異なるシリーズの画像を複数選択することにより、任意の断面を時系列に沿って確認可能な機能を有すること。
4-3-72	選択したスタックの断面画像を以下の条件で並べ替え可能な機能を有すること。(イメージNo.順、スライスロケーション順、イメージポジション順、撮影時刻順、インスタンス日時順)
4-3-73	検査単位で1フレームに表示させた場合は、前後のシリーズの先頭画像へ操作移動してページング操作が可能な機能を有すること。
4-3-74	ユーザーごとに複数の操作を組み合わせた複合コマンド登録可能な機能を有すること。また、登録した複合コマンドは、ツールバーや右クリックメニュー、ショートカットキーから使用可能な機能を有すること。
4-3-75	複数シリーズの比較表示時に、スライスロケーションまたはイメージポジションにより、自動的に位置合わせ可能な機能を有すること。
4-3-76	CT、PET画像において画像形状を認識した位置合わせ可能な機能を有すること。
4-3-77	同一のテーブルポジションが存在しない場合は近似値で位置合わせ可能な機能を有すること。
4-3-78	複数のスタックを選択した状態で、アクティブスタック(最後に選択した画像)に同期させながらページングが可能な機能を有すること。(同期ページング)。
4-3-79	スライス厚が異なる複数のシリーズを比較読影する時に、スライス位置を自動的に計算し、同期ページングが可能な機能を有すること。
4-3-80	断面の異なる複数のシリーズ上で、1つの断面で指定したROIの位置に連動して、他断面上の同じ個所のROIを表示可能な機能
4-3-81	FOVのみ、スライス位置のみ、またはFOVとスライス位置等を組み合わせて1クリックで位置合わせ可能な機能を有すること。
4-3-82	アクティブスタックを基準として、選択した他の複数スタックの画像に対して、サイズ合わせ、位置合わせ、座標合わせができること。また、この操作をワンボタンで可能な機能を有すること。
4-3-83	アクティブスタックを基準として、選択した他の複数スタックの画像に対して階調の変更を反映させられること。また、反映の有無についてはユーザーごとに設定可能な機能を有すること。
	(計測/アノテーション)
4-3-84	アノテーション機能・計測可能な機能を有すること。
4-3-85	アノテーション情報および計測情報は、一部消去ならびに全消去が可能な機能を有すること。
4-3-86	アノテーション情報および計測情報は、画像データと共に保存し、再度表示可能な機能を有すること。
4-3-87	アノテーション情報および計測情報は、表示のON/OFFを切り替え可能な機能を有すること。
4-3-88	アノテーション機能における直線、矢印、番号、矩形、円形、多角形、文字入力では表示する線の色、線の太さ、フォントサイズ、文字の色を簡単に変更可能な機能を有すること。また、複数個所にマークする際には、自動で色を変更可能な機能を有すること。
4-3-89	計測機能として、長さ、面積、2点角度、3点角度、CE角、Cobb角、FTA、比率、画素値、各種ROI計測可能な機能を有すること。また、計測した数値をCSV形式で保存可能な機能を有すること。
4-3-90	計測結果をクリップボードにコピーし、他のアプリケーションに貼り付け可能な機能を有すること。
4-3-91	ROI計測では、面積、短径・長径、最小値、最大値、平均、中央値、合計、SDの計測が可能で、表示する項目をモダリティごとに設定可能な機能を有すること。また、小数点の表示桁、小数部の処理方法を指定可能な機能を有すること。
4-3-92	心胸比専用の測定が可能な機能を有すること。また、複数の方法で測定可能な機能を有すること。
4-3-93	計測モードに変更することなく、キーボードとマウス操作による簡易計測で長さ・画素値の測定可能な機能を有すること。また、測定結果をクリップボード経由でレポートなどに貼り付け可能な機能を有すること。
4-3-94	キーボードとマウス操作により他断面上の同じ箇所をマウスポインタで表示可能な機能を有すること。
4-3-95	PET画像に対するSUV計測可能な機能を有すること。また、PET画像のMPR画面では、ROIだけでなくVOIでのSUV計測可能な機能を有すること。
4-3-96	画素間隔を指定することにより、距離情報のないDICOM画像でも距離や面積の計測可能な機能を有すること。
	(FUSION)
4-3-97	モダリティ種類を問わずに、全ての端末でフュージョン可能な機能を有すること。(例：CT画像・MRI画像、CT画像・核医学画像、MRI画像・核医学画像など)
4-3-98	重ね合わせ画像の画素値に関わらず、指定した合成率で合成可能な機能を有すること。
4-3-99	重ね合わせ画像の画素値が指定した合成率を超えた場合に合成可能な機能を有すること。
4-3-100	画素値×合成率の値を基に合成可能な機能を有すること。
4-3-101	ベース画像と重ね合わせ画像の差分を表示可能な機能を有すること。
4-3-102	ベース画像と重ね合わせ画像の差分を絶対値で表示可能な機能を有すること。
4-3-103	フュージョンした結果とベース画像を、メッシュまたは格子状に合成した画像を表示可能な機能を有すること。
4-3-104	フュージョン操作は、キーボード操作またはマウスで画像をドラッグする操作のみで可能な機能を有すること。また、重ね合わせをする際に自動でスライス位置やFOVを合わせる機能を有すること。
4-3-105	フュージョンで重ね合わせたそれぞれの画像について、表示割合を調整可能な機能を有すること。
4-3-106	フュージョンで重ね合わせた画像でMPR表示が可能な機能を有すること。
4-3-107	フュージョンした画像をサーバへ登録が可能な機能を有すること。
	(画像の再構成)
4-3-108	表示中の体軸断面画像の断面変換を行い、矢状断面画像、あるいは冠状面画像として表示できること。また、作成した画像にスライスライン(参照ライン)を表示可能な機能を有すること。

4-3-109	院内すべての画像配信端末で、シリーズ内の画像を再構成し、体軸断面画像、矢状断面画像、冠状面画像、MIP回転像の再構成画像をフレーム内で表示可能な機能を有すること。
4-3-110	スタック内で再構成した画像は、MIP表示、MinIP表示、RaySam表示可能な機能を有すること。また、再構成するスライスの厚さとスライス間の距離を指定可能な機能を有すること。
4-3-111	スタック内で再構成した斜断面画像は、断面の角度を変更可能な機能を有すること。
4-3-112	スタック内の画像を斜断面表示可能な機能を有すること。マウスのドラッグ操作で斜断面画像を回転可能な機能を有すること。また、再構成した断面をDICOM画像としてPACSへ送信可能な機能を有すること。
4-3-113	別ウィンドウでMPR表示可能な機能を有すること。また、MPR画面上でもMIP、MinIP処理が可能な機能を有すること。
4-3-114	関心領域を含んだ体軸断面画像をスタックに表示した状態でMPR画面を呼び出した場合、表示していた断面でのMPR像を初期表示可能な機能を有すること。
4-3-115	MPR表示において、CurvedMPR表示可能な機能を有すること。
4-3-116	MPR表示において、斜断面で任意の場所をダブルクリックすると、自動で各断面が移動可能な機能を有すること。
4-3-117	MPR表示において、斜断面で固定した点を中心として画像を回転できること。また、左右頭尾の方向を示すキューブによって表示中の断面方向を表し、キューブをドラッグ操作することにより画像を回転可能な機能を有すること。
4-3-118	MPR表示においてスライスの厚さ・スライス間の距離を指定したMIP、MinIP、MIP回転の再構成可能な機能を有すること。また、スライスの厚さをスライダーやマウス操作で調整可能な機能を有すること。
4-3-119	MPR画面のレイアウトで、直角に交わる3方向の斜断面画像（体軸断面画像、矢状断面画像、冠状面画像）を表示可能な機能を有すること。
4-3-120	MPR画面で作成した斜断面画像をDICOM画像としてPACSに送信可能な機能を有すること。
	(画像解析)
4-3-121	選択した範囲の画素値をピクセルマップの表示可能な機能を有すること。
4-3-122	表示している画像全体、または指定した領域内について、画素値のヒストグラムを表示可能な機能を有すること。
4-3-123	画像上の指定した直線部分における画素値の推移をプロフィールカーブの表示可能な機能を有すること。
	(画像編集機能)
4-3-124	選択したスタックの画像を画素値によって色分け可能な機能を有すること。
4-3-125	任意の画像に対して、スムージング、ぼかし、輪郭強調、シャープネス、白黒反転、擬似カラー設定の画像処理可能な機能を有すること。
4-3-126	複数枚の画像をそのままの状態を重ね合わせて表示可能な機能を有すること。(畳み込み機能)
4-3-127	PartialMIP表示の際の枚数を選択できること可能な機能を有すること。(2, 3, 4, 5, 7, 10枚)
4-3-128	PartialMIP表示は枚数・厚さ・距離・角度を指定可能な機能を有すること。
4-3-129	PartialMIP表示の他に、RaySam表示、MinIP表示可能な機能を有すること。
4-3-130	PartialMIP画像と、断面角度を変更した再構成画像を用いてステレオ視モード表示ができること。また、本モードは簡便な操作で表示可能な機能を有すること。
4-3-131	スカウト画像の参照ラインをドラッグすることで、他断面の画像の位置を同期させて変更可能な機能を有すること。
4-3-132	画像にフラグを付け可能な機能を有すること。また、フラグを付けた画像のみを表示可能な機能を有すること。
4-3-133	DSAマスク処理ができること。この処理は、シングルフレーム画像、マルチフレーム画像の両方に対して実行可能な機能を有すること。
4-3-134	DSAマスク処理は、DICOMタグのマスク情報の適用によって行えること。また、マスク情報の入力可能な機能を有すること。
4-3-135	MRI画像に対するComputedDWI機能があること。また、作成したComputedDWI画像をPACSサーバーに送信可能な機能を有すること。
	(画像媒体参照)
4-3-136	患者がCD等で持参したDICOMファイルを画像ビューアーへドラッグ＆ドロップすることによって参照可能な機能を有すること。
	(検査画像の保存)
4-3-137	任意の検査における画像を、利用する端末上に保存（ダウンロード）できること。また、当該機能の権限をユーザーごとに付与可能な機能を有すること。
4-3-138	画像を保存する際、スタディ単位・シリーズ単位・任意の領域を指定可能な機能を有すること。
4-3-139	ビューアーで表示している画像の内、フラグを付けた画像だけを、患者ごとに一括で保存可能な機能を有すること。
4-3-140	画像の任意の領域をマウスドラッグによって選択できること。また、選択した領域はクリップボード経由での他システムへのコピーや、連携するレポートシステムへキー画像として貼り付け可能な機能を有すること。
4-3-141	画像を保存する際、保存する画像のオーバーレイ・アノテーション情報の有無を選択可能な機能を有すること。
4-3-142	DICOM形式、JPEG形式、Bitmap形式、TIFF形式、avi形式、およびプレゼンテーションソフトウェア（PowerPoint®スライド）形式にてファイルを保存可能な機能を有すること。また、当該機能の権限をユーザーごとに付与可能な機能を有すること。
4-3-143	JPEG形式、Bitmap形式、TIFF形式ファイル保存の際、画像のマトリックスサイズ、解像度を指定可能な機能を有すること。
4-3-144	PowerPoint®スライドを作成する際、作成するスライドの用紙タイプ（A4・35mmスライド・OHPシートなど）を指定可能な機能を有すること。また、選択した複数のシリーズ、複数枚の画像を設定に合わせて自動で貼り付け可能な機能を有すること。
4-4	汎用ファイル管理アプリケーション機能（MyShelf, PatientShelf）
4-4-1	Windows10 相当のOSを搭載したクライアントPCからWebブラウザを介して動作可能な機能を有すること。
4-4-2	フォルダ内のファイル表示形式は、リスト形式/アイコン形式の切替が可能な機能を有すること。
4-4-3	アプリケーションは、患者毎、又はログインユーザ毎のフォルダを有すること。
4-4-4	アプリケーションフォルダからドラッグ＆ドロップで出力する機能を有すること。
4-4-5	汎用ファイルはストレージユニット内で管理すること。
4-4-6	取り込みした汎用ファイルに、作成日時、タイトル、病名、コメントを付与し、これらを検索キーとして検索可能な機能を有すること。

4-4-7	取り込みした汎用ファイルの登録日時を任意の日時へ変更可能とし、変更した日時は作成日時として登録される機能を有すること。
4-4-8	ビューアで保存したい画像をフォルダへドラック&ドロップで取り込みが可能な機能を有すること。また、保存したシリーズをクリックすることでビューア表示することが可能な機能を有すること。
4-4-9	取り込みした画像に対してレポートが作成されている場合、レポート画面を起動させることが可能な機能を有すること。
4-4-10	取り込みした汎用ファイルのファイル種別で検索可能な機能を有すること。
4-4-11	取り込みした画像の患者情報（ID・氏名・性別・年齢・生年月日）で検索可能な機能を有すること。
4-4-12	ファイルの受け渡し機能を有しており、指定したユーザのフォルダから、ファイルまたはフォルダを取り込むことが可能な機能を有すること。
4-5	安全性管理機能
4-5-1	表示中のクライアントアプリケーションに対応したランチャーボタンが表示可能なこと。ボタンをクリックすることで、使用するアプリケーションの最前面表示、最小化表示を切り替え可能な機能を有すること。
5	レポートシステム ハードウェア
5-1	保管スペース・維持コストを考慮し、画像保管装置と本体を共有して運用可能な機能を有すること。
5	レポートシステム ソフトウェア
5-1	レポート機能
	(管理)
5-1-1	レポート専用アプリケーションを使用して、記入された所見情報を管理する機能を有すること。
5-1-2	ユーザをID・パスワードにより管理する機能を有すること。
5-1-3	レポートの記入状態（読影ステータス）は8段階以上の保存状態で管理する機能を有すること。
5-1-4	未読影・仮保存・確定の3状態以上での管理が行われ、検査一覧では各状態が色識別表示できる機能を有すること。
5-1-5	確定したレポートを変更した場合は版管理を行い、変更前のレポートの確認が可能な機能を有すること。
5-1-6	読影ステータスを1つ前のステータスに戻す機能を有すること。
5-1-7	ユーザ毎にレポート作成・管理等の機能制限が可能な機能を有すること。
5-1-8	ユーザ毎にレポート入力エリアのフォントサイズや色の変更が可能な機能を有すること。
5-1-9	記入したレポートの読影管理加算及び研修医実績表の帳票出力可能な機能を有すること。
	(情報取得)
5-1-10	HISの医事会計システムから患者基本属性情報を取得する機能を有していること。
5-1-11	HIS側で、レポートサーバに対して上記撮影情報を取得できない場合には、画像サーバに登録された当日の撮影検査の情報から、読影用の患者、検査の情報を作成する機能を有すること。
	(レイアウト)
5-1-12	読影レポートを作成する際に必要となる情報(患者情報、検査情報、過去レポート、および画像)が情報別に整理され、別の画面を開くことなく、1面で確認できる機能を有すること。
5-1-13	画面上に多くの情報が表示されている中でも、読影レポートの対象者が一目でわかるように、患者IDなどの患者基本情報は目立つように配置される機能を有すること。
	(起動・終了)
5-1-14	レポート記入時にレポート記入画面と検査画像を同時に起動する機能を有すること。
5-1-15	レポート記入後にレポート記入画面と同時に検査画像を閉じる機能を有すること。
5-1-16	レポート記入画面から記入しているレポートに対応する今回検査画像を任意に起動する機能を有すること。
	(ブックマーク)
5-1-17	レポートの分類を分けられるブックマーク機能を有すること。
	(過去レポート)
5-1-18	所見入力はキーボード入力以外に、過去レポートからの引用、定型文入力が可能な機能を有すること。
5-1-19	過去レポートからの引用時に1クリックで過去レポートをコピー可能な機能を有すること。
5-1-20	過去レポートからの引用時に部分選択して必要な箇所だけを過去レポートよりコピー可能な機能を有すること。
5-1-21	参照している過去レポートに対応する検査画像を起動する機能を有すること。
5-1-22	参照している過去レポートの印刷プレビューが表示可能な機能を有すること。
5-1-23	過去レポートは過去レポート単体でなく、該当患者の全ての過去レポートが一覧で表示可能な機能を有すること。
5-1-24	一覧で表示される検査は、モダリティや部位で絞込みが可能な機能を有すること。さらに、表示された検査の内、確認したい項目(所見・検査目的・キー画像..)を選択して表示できる機能を有すること。
	(定型文)
5-1-25	定型文に関しては個人・共有でフォルダ分けを行える機能を有すること。
5-1-26	共有の定型文の編集は権限が付与されたユーザのみが使用できる機能を有すること。
5-1-27	登録した定型文は分類を分けて検索が可能な機能を有すること。
5-1-28	定型文の検索のプリセット登録が行える機能を有すること。
5-1-29	登録した分類・定型文を他のフォルダへ移動が可能な機能を有すること。
5-1-30	記入中の所見から新規に定型文に登録が行える機能を有すること。
5-1-31	既に登録されている定型文を編集した場合に上書き登録が行える機能を有すること。
5-1-32	選択されている定型文をコピーして新規で新しく定型文を作成する機能を有すること。
5-1-33	定型文からの引用時に1クリックで引用可能な機能を有すること。
5-1-34	定型文からの引用時に部分選択して必要な箇所だけを引用可能な機能を有すること。

5-1-35	定型文は文書だけでなく、穴埋め定型文も登録が可能な機能を有すること。 ※穴埋め定型文とは、値や方向などの部分をわかりやすい記号で表し、所見に貼り付けた時点で、その記号を数値や方向、言葉などに置き換えるもの。
	(キー画像)
5-1-36	キー画像は画像ビューアのツールバー、右クリックメニュー、キーボードのショートカットで貼り付け可能な機能を有すること。
5-1-37	キー画像は画像イメージ全体のみでなく、部分選択して貼り付け可能な機能を有すること。
5-1-38	キー画像エリアにキー画像枚数の表示が可能な機能を有すること。
5-1-39	キー画像は30枚貼り付けが可能な機能を有すること。
5-1-40	貼り付けたキー画像の貼り付け位置（順番）の変更が可能な機能を有すること。
5-1-41	他の患者の画像を貼り付けた場合、アラートメッセージを出して画像の貼り付けが出来ない機能を有すること。
	(シエマ・アノテーション)
5-1-42	貼り付けたキー画像へアノテーションの記入が可能な機能を有すること。
5-1-43	アノテーションは、直線、始点矢印/終点矢印、フリーハンドライン、矩形、円、フリーフォーム、スタンプ、テキストが使用可能な機能
5-1-44	アノテーションは色の選択が可能な機能を有すること。
5-1-45	使用頻度が高い色を5個以上プリセット登録可能な機能を有すること。
5-1-46	文字入力の場合、フォントサイズと文字の種類を選択可能な機能を有すること。
5-1-47	スタンプ機能はユーザが定義したイメージを追加することが可能な機能を有すること。
5-1-48	描画方法にスプレー機能を有すること。
5-1-49	アノテーション記入時に1つ前に戻る機能を有すること。
5-1-50	シエマをモダリティ、部位単位で分類設定可能な機能を有すること。
5-1-51	jpeg等のシエマを追加登録できる機能を有すること。
5-1-52	キー画像が前へ/次へボタン操作にて、移動可能な機能を有すること。
	(ハイパーリンク)
5-1-53	貼り付けたキー画像と所見をリンクさせる機能を有すること。
5-1-54	リンクに関しては1つの文書に対し複数の検査画像のリンクも可能な機能を有すること。
5-1-55	作成したリンクに対して編集・削除が可能な機能を有すること。
5-1-56	リンクを含む読影レポートの印刷を行った場合、リンクの対応状況を分かり易くするために、リンク文書とキー画像に同一の番号を付加して印刷できる機能を有すること。
5-1-57	画像サーバと連携し、所見中の単語にリンクした画像は自動的にプロテクトされ、画像サーバの自動削除対象から外れる機能を有すること。
5-1-58	レポート参照時にリンクされた文書から該当するリンク先のキー画像を起動する機能を有すること。
5-1-59	リンクされたキー画像から画像ビューアを起動する機能を有すること。
5-1-60	リンクされたキー画像から画像ビューアを起動する際にはシリーズの先頭でなく、キー画像位置で表示させる機能を有すること。
	(印刷・保存)
5-1-61	レポート印刷時にプレビュー画面を表示し、紙印刷のみでなくPDF保存が可能な機能を有すること。
	(参照側)
5-1-62	所見欄以外に放射線科ユーザのみが参照できる、放射線科部門内での参照・共有を目的とした情報を入力できるメモ機能を有すること。
5-1-63	記入したレポートを配信するWebサーバ機能は、同一筐体上で行える機能を有すること。
5-1-64	HIS又はRISと連携し、URLを指定することにより、該当検査のレポートを参照できる機能を有すること。
5-1-65	レポート参照時、貼り付けられたキー画像から画像ビューアを起動する機能を有すること。
5-1-66	レポート参照時、キー画像から画像ビューアを起動する際にはシリーズの先頭でなく、キー画像位置で表示させる機能を有すること。
5-1-67	レポート参照時に印刷テンプレートを選択し、印刷可能な機能を有すること。
	(その他)
5-1-68	ネットワーク障害発生時、作成中のレポートをローカルのPCに保存し、障害復旧後、再作成することができる機能を有すること。
6	画像入出力システム
6-1	制御端末
6-1-1	制御端末は内蔵マルチドライブを有し、パブリッシャー本体故障時にバックアップとしての切り替えをユーザーで簡単に行える機能を有すること。
6-1-2	モニタは、21.5inchカラー相当1面を1セット用意すること。
6-1-3	制御端末のCPUは、インテル Corei5相当の性能・機能を有すること。
6-1-4	制御端末は、16GB以上の記憶容量を有すること。
6-1-5	制御端末は、SSD512GB以上の容量を有すること。
6-1-6	制御端末には、EPSON社製のPP-100Ⅲ相当の接続可能なプリンタを有すること。
6-1-7	システムを制御するアプリケーションは、64bit環境で開発され、64bitで動作できる機能を有すること。
6-1-8	システムを制御するアプリケーションは、メインリストはプレビュー付きリスト表示またはマトリックスビュー表示から選択できる機能を有
6-2	画像読込機能
6-2-1	CDまたはDVDに格納されているDICOMファイルを、専用画面から読み込みができる機能を有すること。
6-2-2	CDまたはDVDに格納されているTIFF、JPEG、BMP、PNGを自動でDICOMファイルに変換する機能を有すること。
6-2-3	DICOM DIRの有無にかかわらず読み込む機能を有すること。
6-2-4	読込んだ画像を画像サーバに転送する機能を有すること。

6-2-5	読込んだ画像を確認するためのビューアを機能を有すること。
6-2-6	画像サーバーへの再送信機能を有すること。
6-2-7	画像サーバーへの再送信機能を複数有し、ユーザーが簡単に選択できる機能を有すること。
6-2-8	読込んだ画像は、ワークリストの機能により患者情報を付加する機能を有すること。
6-3	画像書出機能
6-3-1	設定により目的を選択する機能を有すること。
6-3-2	匿名化メディアを作成する機能を有すること。
6-3-3	暗号化してメディア作成する機能を有すること。
6-3-4	作成失敗メディアを識別する機能を有すること。
6-3-5	書出す容量により、CDまたはDVDを自動で選択する機能を有すること。
6-3-6	メディアが複数枚に渡るとき、区切りをシリーズ単位とするか画像単位とするかを選択する機能を有すること。
6-3-7	書き出し目的によりラベルデザインを変更する機能を有すること。
6-3-8	ラベルデザインは、ユーザーが簡単に設定できる機能を有すること。
6-3-9	ラベルには、患者氏名、患者ID、性別、年齢、検査日、モダリティ、画像枚数を表示する機能を有すること。
6-3-10	作成者・作成日等の履歴を保存し、ユーザーが参照する機能を有すること。
6-3-11	匿名化メディアはDICOM Part15に従い作成できる機能を有すること。
7	検像システム
7-1	検像端末
7-1-1	オペレーティング・システムは、Microsoft Windows11 Pro(64bit)またはMicrosoft Windows10 Pro(64bit)であること。
7-1-2	プロセッサはIntel Core i5 3.20GHz以上であること。又はこれと同等以上の性能・機能を有すると判断されるものを有すること。
7-1-3	主記憶装置の容量は、オペレーティングシステムが32bitの場合は4GByte、64bitの場合は8GByte以上有すること。
7-1-4	ギガビット・イーサネット・インターフェースを有すること。通信プロトコルはTCP/IPを実装すること。
7-1-5	ハードディスク容量は500GB×2（ミラーリング）以上有すること。
7-1-6	画像確認用として、ワイドモニタ1面および解像度2M以上の高精細モニタ1面を有すること。
7-2	画像受信機能
7-2-1	DICOM Storage Service ClassのSCP機能を有し、DICOM画像発生装置から出力される画像を保存・管理する機能を有すること。
7-1-2	受信する画像のTransfer Syntax UIDについてはJPEG_LOSSLESS_HIER_14、IMPLICIT_LITTLE_ENDIAN、EXPLICIT_LITTLE_ENDIAN、EXPLICIT_BIG_ENDIANをサポートすること。
7-1-3	複数の画像発生装置から同時に画像を受信する機能を有すること。ただし画像発生装置の接続数は5台までとする。
7-3	画像受信一覧機能
7-3-1	受信した画像を検査単位にて一覧表示する機能を有すること。
7-3-2	検査一覧では各カラムでソートする機能を有すること。
7-3-3	検査一覧では患者ID、Accession番号、モダリティ種別、検査日、画像発生元AEタイトルの項目にて検索する機能を有すること。
7-3-4	検査一覧で頻繁に使用する検索条件を、お気に入り検索としてプリセットする機能を有すること。
7-3-5	検査に紐づくシリーズ画像を一覧表示する機能を有すること。
7-3-6	シリーズ一覧ではシリーズ画像やシリーズ情報等をリスト形式またはタイル形式で表示する機能を有すること。さらにワンクリックで表示形式が切り替え可能なこと。
7-3-7	シリーズ一覧ではシリーズ中の画像をサムネイルにて表示する機能を有すること。表示する画像サムネイルについては、シリーズ中の1枚のみ、スライス位置での最初と最後の2枚、すべて、のいずれかを選択する機能を有すること。
7-3-8	画像の転送状況、修正状況、検像状況により検査一覧およびシリーズ一覧を絞り込む機能を有すること。
7-3-9	画像が保存されているドライブの使用率、空き容量をソフトウェア上に表示する機能を有すること。
7-3-10	検査一覧に表示されている検査数およびシリーズ一覧に表示されているシリーズ数をソフトウェア上に表示する機能を有すること。
7-4	画像表示機能
7-4-1	検査単位、シリーズ単位（複数選択可）にて画像を表示する機能を有すること。
7-4-2	検査内のすべての画像を並べて表示（串刺し表示）する機能を有すること。
7-4-3	モダリティ単位にてプリセットされた順番で画像を表示する機能を有すること。
7-4-4	モダリティ単位にてプリセットされたレイアウトで画像を表示する機能を有すること。
7-4-5	W/L値を適用する際に小数点以下をサポートして画像を表示する機能を有すること。
7-5	画像操作
7-5-1	マウスやキーボードを利用して画像をスタックする機能を有すること。
7-5-2	スライダバーを利用して画像をスタックする機能を有すること。
7-5-3	同軸方向の画像は同期してスタックする機能を有すること。
7-5-4	W/L値を変更して画像を表示する機能を有すること。さらにその際に、マウスを利用して全イメージに反映、マウスを利用して操作中のイメージにのみ反映、マウスを利用して操作中のイメージ以降に反映、プリセットの利用、手動にて値を設定、のいずれかが選択可能なこと。
7-5-5	画像をスタック、W/L値変更する際のマウス感度を調整する機能を有すること。
7-5-6	画像をパンニングする機能を有すること。
7-5-7	画像を拡大・縮小して表示する機能を有すること。さらにその際にピクセルを補完して画像を表示することが可能なこと。
7-5-8	画像の関心領域を部分拡大して表示する機能を有すること。
7-5-9	画像表示時のデフォルトの画像操作モードを選択する機能を有すること。

7-5-10	画像を回転・反転（上下・左右）させて表示する機能を有すること。
7-5-11	画像を白黒反転させて表示する機能を有すること。
7-5-12	画像上にスタンプや塗りつぶしを貼り付けて表示する機能を有すること。スタンプについてはユーザが任意の文字をあらかじめ登録することができ、貼り付けた後にフォントサイズが変更可能なこと。さらに貼り付け時には文字色の白/黒、背景色の白/黒および背景のあり/なしを自由に選択することが可能なこと。
7-5-13	画像上の任意の四角で囲った領域の外側を塗りつぶして表示する機能を有すること。
7-5-14	プリセットを利用して画像表示順を変更する機能を有すること。
7-5-15	縦1画像×横1画像から縦8画像×横8画像まで、画像表示レイアウトを変更する機能を有すること。
7-5-16	マスの塗りつぶしにより画像表示レイアウトを変更する機能を有すること。
7-5-17	マウスダブルクリックにより画像表示レイアウトを縦1画像×横1画像に変更する機能を有すること。
7-5-18	シリーズおよび画像のページ送り機能を有すること。
7-5-19	画像に対して行った処理を1回の操作でリセットできる機能を有すること。
7-5-20	スカウト画像にスライズラインを表示する機能を有すること。
7-5-21	W/L値を変更した画像を保存する機能を有すること。
7-5-22	回転・反転（上下・左右）した画像を保存する機能を有すること。（ただしモダリティ種別は限定する。）
7-5-23	白黒反転した画像を保存する機能を有すること。（ただしモダリティ種別は限定する。）
7-5-24	スタンプや塗りつぶしを貼り付けた画像を保存する機能を有すること。（ただしモダリティ種別は限定する。）
7-5-25	複製したスタンプを貼り付けた画像を保存する機能を有すること。（ただしモダリティ種別は限定する。）
7-5-26	任意の四角で囲った領域の外側を塗りつぶした画像を保存する機能を有すること。（ただしモダリティ種別は限定する。）
7-5-27	画像ビューア上で画像を削除する機能を有すること。
7-5-28	シリーズ画像を分割・結合する機能を有すること。
7-5-29	シリーズ一覧上でドラッグ&ドロップによりシリーズの並び順（シリーズ番号）を昇順および降順にて変更する機能を有すること。また、変更対象するシリーズは検査内の全てのシリーズか、選択したシリーズのみとするかを指定可能なこと。
7-5-30	1画面上に50シリーズを超えるシリーズ画像をタイル形式で表示することができ、さらにその画面上でドラッグ&ドロップによりシリーズの並び順（シリーズ番号）を昇順および降順にて変更する機能を有すること。
7-5-31	シリーズ内の画像の昇順/降順指定により、画像の並び順（イメージ番号）を変更する機能を有すること。
7-5-32	画像サムネイルのドラッグ&ドロップにより、画像の並び順（イメージ番号）を変更する機能を有すること。
7-5-33	画像サムネイルのドラッグ&ドロップにより、別シリーズもしくは新規シリーズへ画像を移動する機能を有すること。
7-5-34	画像サムネイルを利用して画像を削除する機能を有すること。
7-5-35	検査画像の一部のシリーズを新しい検査に変更する機能を有すること。
7-5-36	検査画像の一部もしくは全てのシリーズを別の検査に移動する機能を有すること。
7-5-37	Study/Series/SOPInstanceUIDを新規に発行して検査画像を複製する機能を有すること。
7-5-38	Series/SOPInstanceUIDを新規に発行してシリーズ画像を複製する機能を有すること。
7-5-39	患者名、患者ID、性別など、装置側で入力間違いのあったタグ情報を修正する機能を有すること。
7-5-40	タグ情報を修正する際、タグごとにプリセットの登録を可能とし、登録した内容をプルダウンにて選択する機能を有すること。
7-6	画像送信機能
7-6-1	DICOM Storage Service ClassのSCU機能を有し、保管している画像をDICOMの通信プロトコルにしたがって送信する機能
7-6-2	画像送信時のTransfer Syntax UIDについてはJPEG_LOSSLESS_HIER_14、IMPLICIT_LITTLE_ENDIAN、EXPLICIT_LITTLE_ENDIAN、EXPLICIT_BIG_ENDIANをサポートすること。
7-6-3	画像送信時に検査単位、シリーズ単位の指定が可能なこと。
7-6-4	画像送信時に同時に送信可能なシリーズ数を設定できる機能を有すること。
7-6-5	画像送信時に同時に送信可能な検査数を設定できる機能を有すること。
7-6-6	受信した画像のタグ情報を利用し、複数のサーバに分配送信する機能を有すること。
7-6-7	画像送信に失敗した場合、自動的に再送信を行うリトライ機能を有すること。
7-6-8	送信した画像を一覧状に表示/非表示させる機能を有すること。
7-6-9	受信した画像のうち検像中の画像については送信を行えない機能を有すること。
7-7	自動画像送信機能
7-7-1	自動/手動送信の切り替えおよび自動送信時の画像滞留時間をユーザが変更できる機能を有すること。
7-7-2	指定された時刻に自動/手動送信の切り替えを行う機能を有すること。
7-7-3	自動送信時の画像滞留時間をモダリティ種別やAEタイトル単位で指定できる機能を有すること。
7-7-4	画像を自動送信する/しないを画像発生元のAEタイトル単位で指定できる機能を有すること。
8	線量管理システム
8-1	線量ワークステーション
8-1-1	カラー-TFT 液晶パネル 解像度：1920 x 1200、輝度：300 cd/m ² 以上、コントラスト比：1000：1 以上を有すること。
8-1-2	CPUは、Intel Core i7-10700 以上、または、これと同等以上の性能を有すること。
8-1-3	主記憶装置の容量は、32GB以上を有すること。
8-1-4	1 TB HDD × 2 の物理容量を有すること。対障害のためにRAID1以上を有すること。
8-1-5	データベースのバックアップのため外付けHDDを有すること。
8-1-6	オペレーティング・システムは、Microsoft Windows 11を有すること。
8-2	線量管理ワークステーション ソフトウェア

8-2-1	ユーザ名とパスワードによって最大5ユーザの認証できる機能を有すること。
8-1-2	本装置の機能の一部は、ユーザロール（権限）によって編集／削除の機能を制限する機能を有すること。
8-1-3	長時間ログインが放置されたユーザは強制ログアウトする機能を有すること。また、別端末から同一ユーザ名でログインした場合は、ログイン中の同ユーザが強制ログアウトする機能を有すること。
8-1-4	受信した線量情報の装置名に対し、本装置上で識別するための装置名を設定する機能を有すること。
8-1-5	受信した線量情報のプロトコルに対し、別名プロトコルを複数まとめて管理するためのプロトコルグループを設定する機能を有すること。
8-1-6	受信した線量情報のプロトコルに対し、しきい値を設定する機能を有すること。
8-1-7	患者年齢の範囲を、患者タイプ単位（Infant、Pediatric、Younger Child、Child、Adult）で設定する機能を有すること。
8-1-8	ユーザ名とパスワード等のユーザ情報を登録する機能を有すること。
8-1-9	ユーザ情報に「一般ユーザ」又は「管理者ユーザ」のユーザロール（権限）を設定する機能を有すること。
8-1-10	RDSR 形式で送信された CT/XA/NM/PET/RF/MAMMO/X-RAY や 核医学検査に用いられる R-RDSR (Radiopharmaceutical, Radiation Dose Structure Report) について線量情報を受信し、線量管理アプリケーション上で管理する機能を有すること。
8-1-11	指定した条件に従って、プロトコルごとのグラフ表示する機能を有すること。
8-1-12	指定した条件を含め、Web ブラウザのブックマーク保存をすると、次回以降指定した条件を再利用する機能を有すること。
8-1-13	プロトコルごとグラフ表示は、頻度、線量、時間の軸で集計・表示する機能を有すること。
8-1-14	頻度のグラフは、造影・非造影検査を識別して表示する機能を有すること。
8-1-15	プロトコルに対してしきい値が設定されている場合、しきい値を超えたプロトコルに対して、グラフ上でアラーム表示する機能を有すること。
8-1-16	グラフに対して、表示している線量情報をCSV 出力する機能を有すること。
8-1-17	グラフに対して、レポート作成に必要なスナップショットを保存する機能を有すること。
8-1-18	グラフから、1 つプロトコルを選択すると、選択したプロトコルが使われた線量情報の一覧およびトレンドグラフを表示する機能を有すること。
8-1-19	しきい値を超えた線量情報のみ一覧を表示する機能を有すること。
8-1-20	患者リストのカラム（検査日や患者名、プロトコル名などの表示項目）を、表示したい項目のみ選択する機能を有すること。
8-1-21	特定の線量情報を1 つ選択すると検査詳細画面を表示する機能を有すること。
8-1-22	指定した横軸やグラフタイプに従ってトレンドグラフを表示する機能を有すること。
8-1-23	患者の一覧表示から特定の患者を選択すると、その患者のサマリ情報を表示する機能を有すること。
8-1-24	個人履歴表示から、患者の検査履歴を時系列で確認する機能を有すること。
8-1-25	個人履歴表示画面に対して、PDF 形式のレポートを作成する機能を有すること。
8-1-26	装置の稼働状況をグラフ表示する機能を有すること。
8-1-27	グラフのスナップショットを添付し、コメント入力にてレポートを作成する機能を有すること。
8-1-28	JRS（日本医学放射線学会）に掲示している線量管理実施記録を参考にしたレポートを作成（CT/XA/NM/PET）、RF/MAMMO/X-RAYについても同様のレポートを作成する機能を有すること。またプロトコルのリストを追加・変更・削除する機能を有すること。
8-1-29	日本の診断参考レベル2020（DRL）の値をプリセットから選択する機能を有し、複数のプロトコルをグループでまとめて設定する機能を有すること。
8-1-30	SSDE（size-specific dose estimates）値をRDSRまたは手入力で登録する機能を有すること。
9	その他（ネットワーク機器関連）
9-1	サーバ室用のL2スイッチを1式を設置すること。
9-2	サーバ用のモニタ切替器を1式設置すること。
10	他システム連携
10-1	患者情報を医事会計システムから患者基本属性情報を取得する接続を行うこと。
10-2	電子カルテ端末からURL連携で検査リストやビューアを起動可能としていること。
10-3	MWMサーバ機能とのMWM接続は既存接続装置と接続すること。
10-4	医用画像保管装置へのQ/R接続は、メーカー立会のもと既存接続と同一の接続を行うこと。
10-5	医用画像保管装置へのStorage接続は、メーカー立会のもと既存接続と同一の接続を行うこと。
10-6	遠隔画像診断のアイメディカルからのレポートを取り込めること。
11	サービス体制・保守体制
11-1	土日、祝祭日を含めた24時間365日サポート体制が整っています。
11-2	鳥取県/島根県にサービス拠点を有し、PACS/レポート専門のSE/サービスマンが、1名以上常駐し、障害発生時に迅速な対応が可能なこと。もしくは、現地対応として3時間以内の対応が可能なこと。
11-3	リモートメンテナンスが可能なこと。
11-4	納入検収後1年間は、通常の使用より故障が発生した場合は無償メンテナンス保証が可能なこと。